



自然素材を活用したロハス&エコな住環境 エコバウリフォーム・ニュース

9月号

エコロジー& 建築生態学の応用

「秘境的」民家の町並みが残る奈良県・御所

大和平野の西南部、ダイヤモンドの原石のような江戸時代民家が

眠る「御所市御所町」に今、町興しの住民運動が始まっています。半数以上が伝統的建造物のこの街の価値に気づいた人達が、次代にこの遺産を引継ごうと動き始めています。私達30名はこの手付かずの街並みを見学し地元NPO、行政の方々と保存運動について意見交換しました。京町家と違うところは「広い間口、

大きな敷地」京都が「間口納税」、奈良は「敷地納税」であったためです。背割り下水という用水路が町の隅々を流れ、周辺は環濠が囲む独特の街並を形成しています。

NPOごせまちネットワーク創 www.gosemati.net

地元の若者が中心の町興し

見学の後、蔵を改造したホールでの地元との交流会。市と観光協会等からも参加がありました。JMRAから「瓦の色など景観規制を設けるといい」地元からは「古い町家は地震に大丈夫か」などの質問も。

御所は重伝建地区でなく、登録文化財も皆無。改修が必要な建物空き家も出てきておりNPOでは早急に取り組むべき課題が多いと感じました。日本民家再生リサイクル協会(JMRA)正会員(株)アップル大竹

一緒に、植林や葦刈り&茅葺のボランティアなどに参加してみませんか？
アップルでは日本の原風景を保存するさまざまな市民活動に積極的に参加中です！

「エコの先端をいく文化を取り戻す」ビンテージリフォーム
江戸時代木材を再利用するのは当り前の時代。それがいつしか捨てる文化に変わってしまった。究極のエコはそのままの形で出来るだけ長く使う
ビンテージリフォーム。そんな私達の考えが詰まったコンセプト・リフォームを推進中！



毎年9月は「防災月間」今こそ耐震診断と補強を!!

揺れる大地。いずれ必ず来る東京大震災に万全の耐震補強を!



アップルの補強工事
木耐協は、建設業許可法人で建築士常駐の企業が加入条件国内最大の耐震事業者組合。

■ 耐震補強の第一人者「木耐協」

木造住宅耐震補強事業者組合は、住友不動産「新築そっくりさん」で採用され、現在約850社が加盟し全国最大の耐震事業の第一人者です。2000年施行の改正建築基準法で、木造建物に「壁の配置は偏心率30%以内」「壁倍率によって耐震金物の使用義務付け」等様々な耐震要素が組み込まれました。つまり、以前の基準ではOKでも、現在の建築基準法でNGと診断されます。平成18年に木耐協が実施した耐震診断では「倒壊する可能性あり」と全体の8割以上の建物が「既存不適格」と診断されました。今後の住宅業界ではリフォームに耐震補強を組み合わせ、不適格住宅を1件でも減らし、尊い命を守る使命を担う必要があると私たちアップルでは考えています。

木耐協最新データ www.mokutaikeyo.com/data/data_top.htm

■ リフォームは専門知識が非常に大切!

私達リモデラーは部分的とはいえ家を壊し、作り替えていく以上明確な責任と使命を負います。そのためお客様に代わり法律、構造、施工、計画のプロでなくてはならず、専門知識と経験が必須。つまり建築業許可、建築士免許は最低必要ということです。今年6月建築基準法が改正されました。例えば、1年後に「材木のプレカット工場」ですら許可、資格制に変わる可能性が大きいのです。リフォーム業界も同様「無許可・無資格者」で荒らされる点では同様で、今更言うまでも無く、この動きは消費者にとって最もウエルカムといえるものでしょう。これまで野放図のリフォーム業界の現状をやっと国土交通省が把握しました。わたしたちも、今後の法制度が変わっていくことを見守り、楽しみにしたいものです。

(株)アップル 耐震補強 www.reform-apple.com/html/taishin01.html



隣町の橿原市は瓦の産地
古い巴瓦の様子が美しい

「栃木県知事指定・建築士を対象とする特別講習会」 8月3日・耐震補強・実務講習会が開かれました。



主催：栃木県建築士事務所協会
協賛：栃木県建築士会
所属：(株)アップル



耐震関連は専門技術士にご相談ください。

ロハス・デザイン&エコロジー・リフォーム
ECOBAY REFORM
リフォームアップル自治医大店
URL <http://www.reform-apple.com>

リフォームアップル自治医大店
0120-393-897
栃木県下野市祇園1-20-1 〒329-0434
(自治医大駅東口・足銀すぐそば)
☎0285-44-8208 (fax共通)
ホームページで実例を多数ご紹介中。